



2025年11月13日

各 位

会社名 JUKI株式会社
代表者名 代表取締役社長 成川 敦
(コード番号 6440 東証プライム市場)
問合せ先 エグゼクティブオフィサー 鴨居田 聡
総合企画部長
(TEL. 042-357-2211)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2025年11月13日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2025年2月13日に公表しました2025年12月期(2025年1月1日～2025年12月31日)の業績予想について、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせします。

記

1.当期の連結業績予想数値の修正(2025年1月1日～2025年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	105,000	2,000	1,000	1,000	33.69
今回修正予想 (B)	90,000	2,500	500	1,000	33.57
増 減 額 (B-A)	△ 15,000	500	△ 500	—	—
増 減 率 (%)	△ 14.3	25.0	△ 50.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024年12月期)	95,185	△ 962	△ 3,327	△ 3,235	△ 109.00

(修正の理由)

2025年12月期通期の連結業績予想につきましては、当期初より開始した収益性を高める施策、縫製事業のマーケティング戦略の転換(ハイエンド市場への重点シフト)による粗利益改善と機種削減による生産能力適正化が奏功し、売上高は減少しましたが利益は改善しています。

また、第4四半期の売上高は、縫製の米州車載関連等で第3四半期後半に需要回復が顕著であり年末にかけて例年通り大手顧客の期末投資等の需要増加が見込まれます。利益面では売上高の増加に加え、利益率改善効果により、前年同期の2倍程度の営業利益を見込んでいます。

(2024年4Q:売上高277億円/営業利益9億円、2025年4Q:売上高260億円/営業利益20億円)

なお、金利上昇によるコスト増加や持分法投資損失が経常利益に影響しておりますが、親会社株主に帰属する当期純利益は、生産能力適正化に伴う拠点合理化による特別損失計上に対して、政策保有株式等による特別利益を見込み当初業績予想通りの水準を確保できる見込みです。

したがって、配当についても当初予想(10円/1株)を変えておりません。

※ 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上